

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 セラミックパークMINO環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111(内3758)

E-mail：c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 長寿命化 99,700 千円 (前年度予算額： 145,133 千円)
 修繕 88,168 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	145,133	0	0	0	0	0	0	124,200	20,933
要求額	187,868	0	0	0	0	0	0	0	187,868
決定額	187,868	0	0	0	0	0	0	155,800	32,068

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

セラミックパークMINO（以下、「当施設」）は、建設から20年が経過し、施設の適正な管理運営を図るうえで設備等の定期的なメンテナンスや老朽化に伴う修繕等が必要となっている。

(2) 事業内容

○中央監視制御装置更新工事

中央監視制御装置について、更新推奨時期（15年）が到来するため、更新を実施。

○国際陶磁器フェスティバル美濃にかかる修繕等

令和6年度に国際陶磁器フェスティバル美濃'24が予定されており、式典会場となるセラミックパークMINOを整備するために修繕等を実施。

(3) 県負担・補助率の考え方

当施設の指定管理者である（公財）セラミックパーク美濃との基本協定において、60万円以上の修繕にかかる費用は県が負担することとなっており、上記事業は修繕にかかる経費として県が実施すべきものである。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	45,753	修繕料45,753
委託料	11,175	
工事請負費	130,940	
合計	187,868	

決定額の考え方

財源に県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

施設の老朽化に伴い、今後、修繕箇所や設備の更新は益々増加すると考えられるため、令和3年度に劣化調査を委託。調査内容を中長期保全計画に反映し、当該計画に沿った計画的修繕経費を要求していく。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

セラミックパークMINOが施設利用者にとって快適な施設であり続けられるよう管理、整備し、美濃焼はもとより美濃焼産地の魅力を国内外へ発信し、岐阜県の産業、文化振興のため、最大限活用される拠点施設を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						達成率
①来館者数（単位：人）		136,005	170,000	170,000		80%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○直流電源装置更新工事 非常時に非常用照明等に電気を供給する直流電源装置一式（整流器盤、蓄電池、蓄電池盤）の更新工事を実施。 ○給排水ポンプ更新工事 施設に設置されている給排水ポンプの更新工事を実施。 ○その他、オストメイト対応洗浄器具設置工事等、来館者利便性を図る工事を実施。
	指標① 目標：290,000 実績：83,962人 達成率：29%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○照明設備改修工事（令和3～4年度債務負担行為設定） 本館2階、3階及びフォーリー等、R1年度未更新部分の照明器具の更新（LED化）工事を実施。 ○空調設備改修工事（令和3～4年度債務負担行為設定） 館内の空気調和機及び冷却塔の更新工事を実施。
	指標① 目標：170,000人 実績：94,992人 達成率：56%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○構内交換設備改修工事設計委託 館内の電話交換設備について、更新推奨時期が到来するほか、電波法改正に伴い設備更新の必要があるため、改修を実施するための設計を行う。 ○美術館エレベーター改修工事 美術品運搬用のエレベーターの保守部品の提供が令和5年12月に終了することに伴い改修を実施するための設計を行う。 ○自動火災報知機更新工事 自動火災報知装置及び端末通信装置について、更新時期が到来するため、更新工事を実施するための設計を行う。
	指標① 目標：170,000人 実績：136,005人 達成率：80%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 2	セラミックパークMINOを訪れる来館者が安全・安心かつ快適に施設を利用するためにも、この事業は必要不可欠のものである。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	令和4年度の施設利用者を対象にしたアンケート調査では、施設の使い勝手について、「良い」と答えた施設利用者は84%、「普通」と答えた利用者は15%となっており、好評価を得ているものの、引き続きこの状況を確保していく必要がある。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	同施設はいつ故障や破損が起きても不思議ではない状況にあり、故障や破損が起きた場合の多大な影響を考慮すると、定期的なメンテナンス等を行うことにより、故障や破損による影響を最小限に止めることが重要である。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 陶磁器産業は、日本人のライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入・長引く不況による消費力の減退など極めて厳しい状況下にあるため、陶磁器文化・産業振興の拠点であるセラミックパークMINOの魅力をより一層高めていく必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか セラミックパークMINOはオープンから20年を経過しており、今後修繕が必要な箇所も年々増えていく。令和3年度に見直した中長期保全計画に沿って計画的な施設保全に努めるとともに、日常点検により不具合等を早期に発見することで修繕経費を最小限に抑え、来館者の安全・安心・快適な施設利用に努めていく。
--